

---

## 日本語

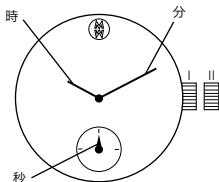
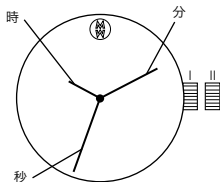
---

MICHELE ウォッチをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。  
クォーツムーブメントの精度および品質は、比類のない正確さを誇り、リ  
ューズを巻く必要も全くありません。

以下は、MICHELE ウォッチの正しい操作およびお手入れ方法をご理  
解いただくための取扱説明書です。内容をよくお読みになり、使用上の  
注意に従って正しくお使いください。

MICHELEの時計で使用しているダイヤモンドは全て本物で非紛争地  
域から採掘されています。トータルカラット重量および石数は ケースの  
裏側に記載されています。

## 2針・3針モデル (RONDA 703, 762, 783, 713, 1069)

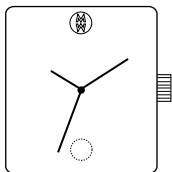


### 時刻の設定

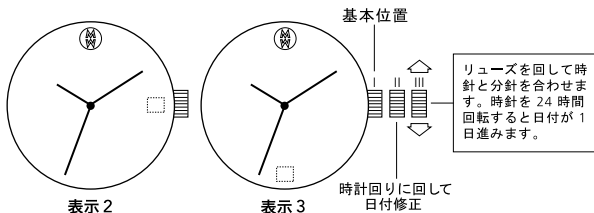
1. リュウズをIIの位置まで引き出します。
2. リュウズを時計回りに動かして時刻を調整します。
3. リュウズをIの位置まで戻します。

## 日付モデル (RONDA 705)

時刻を設定する  
日付を設定する



表示 1



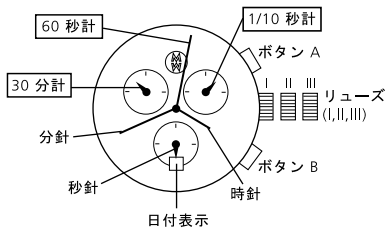
表示 2

表示 3

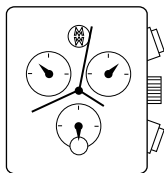
午後10時から午前2時までの間は、  
日付の自動変更機能が作動しているため、日付を変更しないでください。無理に変更すると故障の原因となります。

日付をすばやく変更するには、リューズを時計回りか反時計回りに回します。日付を進めるか遅らせるかは回転方向によって決まります。

# クロノグラフモデル (ETA 251)

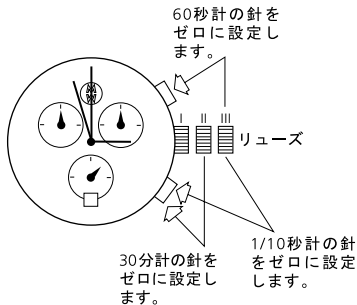


表示 1



表示 2

## ゼロリセット



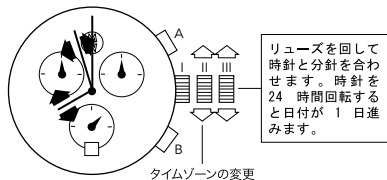
註:AまたはBを押して、タイマーの針(60秒針、30分針および1/10秒針)をリセットします。押す度に針は1単位進みますが、2秒以上押し続けると、もっと早く進みます。

警告:ゼロにリセットする前に、クロノグラフの針を元の位置に戻し、クロノグラフタイマーが作動していないことを確かめてください。

## 修正モード

時刻を設定する  
日付を設定する  
タイムゾーンの変更

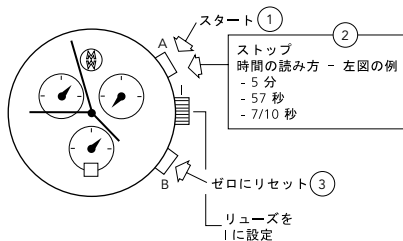
**注意:** リューズをIIIの位置まで引き出すと、秒針が止まります。



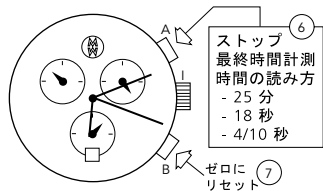
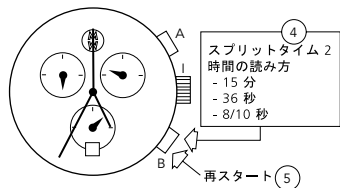
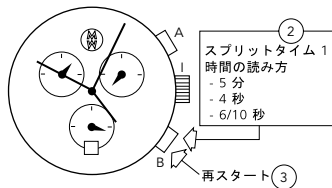
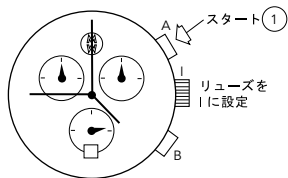
## クロノグラフ・モード

基本的な計測機能

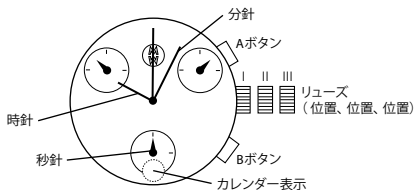
**警告:** 計測を開始する前に、クロノグラフの針をゼロ位置にもどしてください。必要に応じて、「ゼロ・リセット」図を参照してください。



## クロノグラフ・モード 途中経過時間 (スプリットタイム) 計測機能



## クロノグラフ モデル (ETA G10, G15)



### 時刻の設定

1. リユーズをIIIの位置まで引き出してください。(時計は止まります)
2. リユーズを回して、正しい時刻に合わせてください。
3. リユーズをIの位置まで押し戻してください。

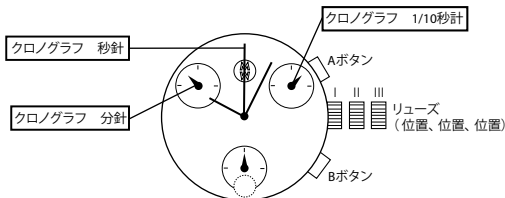
### 日付の設定

1. リユーズをIIの位置まで引き出してください。(時計は作動しています)
2. 昨日の日付が表示されるまで、リユーズを回してください。
3. リユーズをIIIの位置まで引き出してください。(時計は止まります)
4. 正しい日付が表示されるまで、リユーズを回してください。
5. 正しい時刻になるまで、リユーズを回してください。
6. リユーズをIの位置まで押し戻してください。



## クロノグラフ

- ・ クロノ分針は1往復あたり30分計測します。
- ・ 中央のクロノ秒針は1周あたり60秒計測します。



### 注意:

クロノグラフをご使用いただく前に、以下を確認してください。

- リユーズの位置が通常位置=1位置の状態であること。
- クロノグラフを作動させ、Bボタンを押してリセットした時、3つのクロノグラフ針が0時位置にぴったり合っている事。そうでない場合は、針の位置を調整する必要があります。詳しくは「クロノグラフの針を0位置に合わせる」の項目を参照してください。

## クロノグラフの基本的な機能

(スタート/ストップ/リセット)

1. Aボタンを押すとクロノグラフがスタートし、中央の秒計測針が動き始めます。
2. 計測をストップするには、Aボタンをもう一度押してください。
3. Bボタンを押してリセットします。(3つのクロノグラフ針は0位置に戻ります)

## クロノグラフ:ラップまたはインターバルを計測する

1. Aボタンを押すとクロノグラフがスタートし、中央の秒計測針が動き始めます。
2. Bボタンを押してクロノグラフをストップしてください。

**\*注意:** クロノグラフの針は止まりますが、クロノグラフは作動し続け、カウントは継続されます。

### 3. 計測結果を補整する

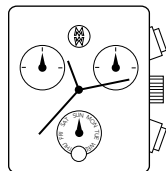
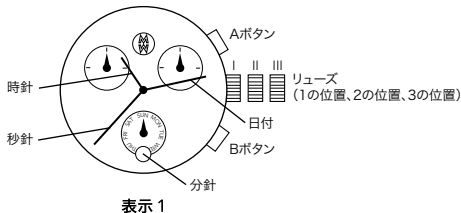
Bボタンを再び押すと3つのクロノグラフの針が計測時間まで素早く進みます。インターバルのカウントを継続するには、引き続きBボタンを使用します。

4. Aボタンを押してストップすると、トータル計測時間が表示されます。
5. Bボタンを押してリセットします(3つのクロノ針は0時位置に戻ります)。

## クロノグラフの針をゼロに合わせる

1. リューズをIIの位置まで引き出します。(3つのクロノグラフの針全てが正しいゼロの位置の場合も、誤った位置にある場合も同じです。)
2. Bボタンを押してクロノ分針を調節します。Bボタンを押し続けると早送りされます。
3. リューズをIIIの位置まで引き出します。
4. Aボタンを押して中央のクロノ秒針を調節します。Aボタン押し続けると早送りされます。
5. Bボタンを押して1/10秒針を調節します。Bボタンを押し続けると早送りされます。
6. リューズをIの位置まで押し戻します。

## クロノグラフ モデル(ISA 8172/220)



表示 2

### 時刻の設定

1. リュースをIIIの位置まで引き出します。(時計が止まります。)
2. リュースを回して時刻を調整します。
3. Iの位置にリュースを押し戻します。

**注:**日付調整前に曜日の設定が必要となります。曜日は時針が24時間分回転することになります。

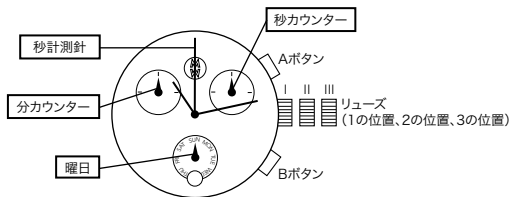
### 日付の設定

1. リュースをIIの位置まで引き出します。(時計は動いたままです。)
2. リュースを回して日付を調整します。
3. ポジションIにリュースを押し戻します。

**注:**9:00 p.m. と12:30 a.m.の間に日付を設定しないでください。

## クロノグラフ

- ・ 分計は一回転で30分を計測します。
- ・ 中央のクロノグラフ秒針は一回転で60秒を計測します。



### 注意:

クロノグラフ機能をご使用になる前にご確認ください:

- リューズは、Iの位置にある(通常的位置)
- Bボタンを押した後、クロノグラフの2本の針は0を指しているか確認してください。もし指していない場合は、針の位置を調整する必要があります。  
(「クロノグラフ針をゼロに合わせる調整の仕方」という項目をご参照ください。)

### クロノグラフ:基本機能

(スタート/ストップ/リセット)

1. Aボタンを押して秒計測針をスタートさせます。
2. 停止させるにはAボタンをもう一度押します。
3. Bボタンを押すと2本のクロノグラフ針がゼロの位置に戻ります。

## クロノグラフ:インターバルタイミング

1. Aボタンを押して秒計測針をスタートさせます。
2. Bボタンを押してクロノグラフをストップします。

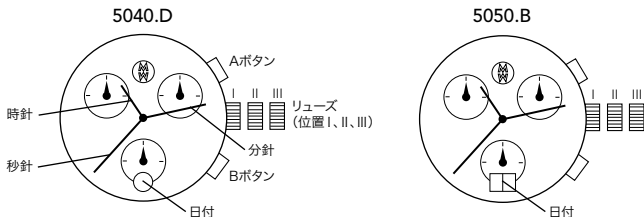
注:クロノグラフ針が止まっても計測は継続しています。

3. Bボタンをもう一度押すと2本の針が計測した時間に進みます。  
インターバルを計るには、Bボタンを押し続けてください。
4. Aボタンを押すと停止し、計測結果が表示されます。
5. Bボタンを押すと2本のクロノグラフ針がゼロの位置に戻ります。

## クロノグラフ針をゼロに合わせる調整の仕方

1. IIの位置までリューズを引き出します。(クロノグラフ針の位置はずれていても構いません)
2. Bボタンを押して分針を進めます。ボタンを押し続けると早く進めることができます。
3. Aボタンを押して秒針を進めます。ボタンを押し続けるとはやく進めることができます。
4. リューズをIの位置まで戻します。

# クロノグラフモデル(RONDA 5040.D, 5050.B)



## 時刻の設定

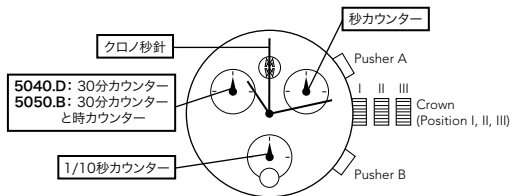
1. リューズをⅢの位置まで引き出します(時計は止まります)。
2. リューズを回して時間を合わせます。
3. リューズを押し込みⅠの位置に戻します。

## 日付の設定

1. リューズをⅡの位置まで引き出します(時計は動き続けます)。
2. リューズを回して昨日の日付に合わせます。
3. リューズをⅢの位置まで引き出します。
4. リューズを回して本日の日付に合わせます。
5. 続けてリューズを回し、午前/午後に注意しながら時間を合わせます。
6. リューズを押し込みⅠの位置まで戻します。

## クロノグラフ

- ・ 一周30分のカウント
- ・ 一周60秒のカウント



### 注:

クロノグラフ機能を使用する前に、以下のことを確認してください。

- リューズをIの位置にします(通常的位置)。
- Bボタンを押して二つのクロノグラフの針をゼロの位置に戻します。  
Bボタンを押してもゼロの位置に戻らない場合には調整が必要となります。

### クロノグラフ:基本機能

(スタート/ストップ/リセット)

1. Aボタンを押すとクロノ秒針がスタートします。
2. 計測を止めるには再びAボタンを押します。
3. 3つのクロノグラフの針を止めゼロに戻すにはBボタンを押します。

## クロノグラフ:ラップの計測

1. Aボタンを押すとクロノ秒針がスタートします。
2. Bボタンを押してクロノグラフをストップします。

**注:** クロノ秒針は止まりますが、時計は継続的に作動し続け、その時点の計測値を記録します。

3. 計測時間の終了:  
Bボタンを再び押すと、3つのクロノグラフの針がラップタイムまで早く進みます。
4. Aボタンを押して最終のタイムを表示します。
5. 3つのクロノグラフの針を止め、ゼロに戻すにはBボタンを押します。

## クロノグラフの針をゼロリセットする

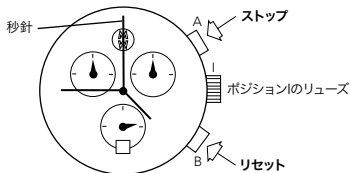
1. リューズをIIIの位置まで引き出します。
2. AボタンとBボタンを同時に2秒間押すとクロノ針が360度回転し、修正モードが起動します。
3. クロノ秒針を調整するには、クロノ秒針が12時の位置に来るまでAボタンを押します。
4. 1/10秒針を調整に移行するには、Bボタンを押します。  
その後Aボタンを1/10秒カウンターが10の位置に来るまで押し続けます。
5. 分針を調整に移行するには、Bボタンを押します。その後Aボタンを分カウンターの針が30(5040.D)または12(5050.B)の位置に来るまで押します。
6. リューズをIの位置に押し込みます。



## 電池の寿命

MICHELE TIMEPIECEが、クロノグラフ機能を搭載している場合、クロノグラフ機能を継続的に使用しない限り、電池を早く消費せずに済みます。

**\*注意:**大秒針が動いていると、クロノグラフ機能が作動しております。



1. クロノグラフを止めるには、Aボタンを一回押します。
2. 大秒針を12時位置に戻すには、Bボタンを一回押します。

電池の平均的な寿命は、クロノグラフ機能を使用しない場合、2年になります。クロノグラフ機能を継続的に使用する場合、電池の寿命は、大体1年程度になりますのでご了承ください。

## 防水機能

MICHELE時計にはすべて5気圧以上の防水機能がついています。

防水機能は、ほこりや湿気、水にさらされることで発生する故障のリスクから時計を保護します。





一覧表をご参照のうえ、各防水レベルに適した使い方をしてください。

水に濡れている状態で時計のリューズを引き出すことはお避けください。  
水分がケース内に浸入し、故障の原因となります。

ねじ込式リューズがついている時計については、水に濡らす前にリューズがしっかりとねじ込み固定されていることを確認してください。

クロノグラフ機能付きの時計については、水中でクロノグラフを操作しないでください。  
水分がケース内に浸入し、故障の原因となります。

## 防水機能について

耐水性		使用例			
裏面の表示	深度				
		手洗い	シャワー 入浴	水泳 シュノーケリング	スクーバダイビング
—	—	X	X	X	X
WR	—	○	X	X	X
3 ATM	3バール 30メートル	○	X	X	X
5 ATM	5バール 50メートル	○	○	X	X
10 ATM	10バール 100メートル	○	○	○	X
20 ATM	20バール 200メートル	○	○	○	○
30 ATM	30バール 300メートル	○	○	○	○
50 ATM	50バール 500メートル	○	○	○	○

### 注意事項

- ・リュウズは常に通常位置に設定して下さい。
- ・上記の表では手洗いが○と記載されている防水性の商品につきましても、蛇口及びシャワーからの水流が直接時計に当たりますと基準以上の水圧がかかる事がありますので、ご注意ください。
- ・上記の表ではシャワーと入浴が○と記載されている防水性の商品につきましても、温水での使用はバックシムを変質させ、浸水させる原因になりますので、ご注意ください。
- ・クロノグラフ(ストップウォッチ)及びボタン機能付きの時計を水中で使用されますと、浸水することがありますので、水中でのボタン操作はお避けください。
- ・10ATM/10バール/100メートルの防水性の商品は水泳時に使用可能ですが、水中で腕を強く振る等すると基準以上の水圧がかかる事がありますので、ご注意ください。

## 時計の使用上の注意

MICHELE TIMEPIECE は、高品質で美しいデザインの製品を特徴としています。時計は、継続的に作動している機械ですので、ご使用上の注意点をご理解いただき着用いただくことをお願い申し上げます。

### ケースとムーブメントの取り扱い

ケースは、柔らかい布で拭いてください。水には浸さないようにお願いいたします。未永くご使用いただくために、18-24ヶ月に一度は、サービスセンターにチェック依頼を出すことをお奨め致します。

### セラミックのコンポーネント

セラミックは、高品質な素材ですが、多孔性であるために衝撃に弱い特性があります。従って、着用の際には、衝撃等にご注意ください。光沢がある外観を維持するために、やわらかい布地で拭いてください。必要であれば、湿っている布か、刺激の少ない石鹸と水を使用してお手入れしてください。固い床等への落下、または接触するのを避けてください。誤って扱われると、欠けや破損の原因となります。

### 注意

MICHELEの時計は、熟練した職人によって作り上げられた製品です。製品を取り扱う上で、以下の点にご注意ください。

極端に暑い場所、寒い場所、長期の直射日光への露出、時計の防水機能以上の水への接触。

テレビやステレオなどの電化製品等の磁力を受けると作動に影響を与える可能性がありますので、近くに置かないようにお願いいたします。また、静電気等にもお気を付けください。衝撃を与えないようにお願いいたします。

## ベルトとプレスレットのお取り扱い

MICHELEでは、最上級のベルトとプレスレットをご用意しております。時計の本体と合うようにデザインされた多様な製品が特徴です。

## 革と布

ベルトを製造するのに使用される自然な素材は、ユニークであり、生地によって、パターンや素材感にバリエーションがありますが、特徴的なコレクションとなっています。エキゾチックな革と布は、デリケートな材料であり、環境に敏感です。水には濡らさないようお願いいたします。水、日光、化学物質への露出または発汗が変色、収縮、および損傷の原因になります。日光浴や、スポーツの際には、着用なさらないでください。

## エナメル革

エナメル革ベルトは、他のベルトと一緒に収納しないでください。色移りの可能性があります。また、化粧品や整髪量等が付着した場合、染みの原因となります。

## 合成素材と金属プレスレット

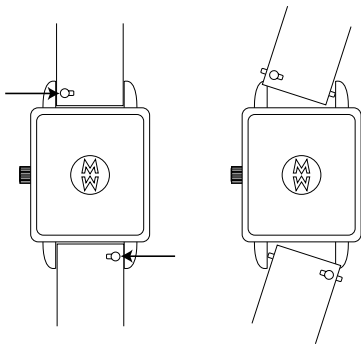
ゴム、シリコン、およびステンレスプレスレットは耐水です。これらの素材は、よりアクティブなライフスタイルに適しています。しかしながら、それらが10ATM以上である腕時計ヘッドとペアでご使用されませんと、本体の機能に影響を及ぼす可能性がございますので、防水機能にはご注意ください。

## 各種ベルトとプレスレットのお手入れ

柔らかい布でお手入れください。化学物質もクリーナーもご使用にならないでください。

金属プレスレットの新品の外観を維持するために、柔らかいブラシと暖かい石鹸水で周期的な掃除を推奨します。お手入れの際は、ケースからプレスレットをはずしてください。

## ストラップの交換方法

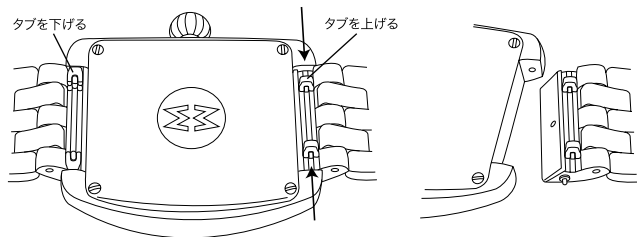


バンドの裏側に出ているピンを、バネ棒がはずれるまで内側にスライドさせ、  
バンドを取り外します。

同様の動作を行い、替バンドを取り付けて下さい。

注：バックルの付いているストラップの短い方を12時側に、長い方を6時側に装着します。

## ブレスレットの交換方法



両方のタブを押し上げます。

両方のタブをお互いに引き寄せて、ピンを外します。

ブレスレットを装着するには、ブレスレットをフェイスに対して、しっかり固定して持ち、再度両方のタブをお互いに引き寄せて装着します。